

# 「羽包み(はくくみ)」

第19号 令和2年12月1日発行

自立援助ホーム「湘南つばさの家」

〒253-0022 神奈川県茅ヶ崎市松浪 1-12-17

TEL・FAX 0467-58-6260 [shonan-tsubasa@marble.ocn.ne.jp](mailto:shonan-tsubasa@marble.ocn.ne.jp)

〔郵便局での振込みは〕 ゆうちょ銀行 振替口座 00200-5-81277 自立援助ホーム 湘南つばさの家

〔銀行からの振込みは〕 ゆうちょ銀行 店名：029 (ゼロニキュウ) 当座 0081277 自立援助ホーム 湘南つばさの家

## 新しい時代で見つめるもの

ホーム長 前川 礼彦

去年の12月に新型コロナウイルスが発生してから1年。その対策は全世界での共通した課題となり、外出時のマスクや消毒、三密を避けたソーシャルディスタンスなど、新しい生活様式はどことなく人との交わりを躊躇させ、在宅で過ごす事も多くなり、人との距離感を意識せざるを得ない年月になりました。

お陰様で当ホームでは発熱する入居者が出る度に緊張も走りましたが、新型コロナウイルスに罹患する事なく本日まで過ごす事が出来ました。改めまして支援者の皆様には多くのご心配や様々な物品・金銭支援等ご支援を賜りまして、誠に有難うございました。この様な時代だからこそ、人が人を思いやり、人の為に動く行動の一つひとつが心に沁みます。

私は今、自分の心を見つめています。それは日々の暮らしを通し、人との人間関係の中で生まれる「心の感情」についてです。人とのやり取りを通して瞬時に湧き上がる心の感情は、周りや協調する為に、仕事を進める為に多くは伏せながら人との繋がりの中生きていきます。しかし人生の中で、心の感情というものには誤魔化しが利きません。その行動は誰の為に行動なのか、その言葉は誰の為に言葉か、打算や保身の為に計算された言動ではないか。他人や仕事上で体裁を整え誤魔化せたとしても、自分の心は騙せない。人との交わりの中で生まれる心の感情は、今の自身の心の在り方が表れているという事を忘れてはなりません。人との関りの中で相手を許せず、心の中でいつも苛立ちを覚えていないか。相手が期待通りにならないからと傲慢な思いが心を支配していないか。瞬時に湧き上がる心の感情を見つめたとき、自分の心の至らなさや浅ましさに嫌気が差す事も少なくありません。

心を磨くとは何か。決して目に見える行動ではない、心の内面の在り様ではないか。長い人生だからこそ、その時々で生まれる毎日の心の感情を、よく味わう必要があるのではないか。他者に見えている表面的な姿では分からない、自分自身の本当の姿が心には見えているであろう。装いのない自分の心を磨き、「人間性を高める」とはどういう事を考えて人生を歩んでいきたいものです。

湘南つばさの家も開設して15年目になりました。計39人の少年たちとの暮らしと、ホームを守ってくれたスタッフ、多くの応援して下さいました支援者の皆様との出逢い。そこには「人と人との温かい交わり」がありました。皆様に深く感謝を申し上げます。